

角 泉美

【何度読んでも泣ける本。】

～前菜～

『そして、君は風になる。』 朝霧 繭



書店でなんとなくとったこの本。手に取ると読むと思わず読み入ってしまいこの本を購入しました。元々陸上部だった私は、「こんな恋はしたくない。」と強く思いよみすすめていきました。長くもなく短くもないそんなこの本の魅力は何と言っても青春の高校生によくある恋愛！読んでいくうちに知ってしまう真実?!この本を読むときは是非ハンカチを手元に置き読んでもらいたいです。

～メイン～

『いつか眠りにつく日』

:いぬじゅん



友達から誕生日にもらったプレゼント。これが、この本との出会いでした。この本は 30 回以上読み返していて何度読んでも感動します…。初めて読んだ中学の朝読書、この時私は正直危なかったです。一番感動した部分は、3 個の未練を解決し天に旅立つ時、本当は自分ではなくその 3 人が死んでいた。その真実を知った時感動しました。時々現れる幽霊は、どこか寂しそうで、今の自分に重なる部分があるように感じます。命の大切さを深く考えさせられる素敵な一冊です。



本屋さんのオススメコーナーにあったこの本は、表紙と題名を見た瞬間、すぐにおおうと決めました。少し厚いこの本は主人公が自殺をしてしまうといった終わりから始まる物語で、読み進めていくうちに本の世界に引き込まれていきました。いじめが原因で自殺してしまう人の心境や、死んだ後に気づく周りの温かさにほっこりする本です。